

月刊冷泉荘 祝50号



ユニークで親しみある場

冷泉荘の魅力は、バラエティに富んだユニークなみなさん。日本画家、詩人、芸術現場調整家、建築士、カメラマン、アクセサリー作家、企画制作、音楽制作、ヨガ&ピラティス、洋裁教室、語学教室、印刷、デザイン、飲食店、マッサージ、レンタサイクル、まちづくり、コミュニティデザイン、旅行業、映像制作など、多彩な入居者さんたち。

そして、イベントや観光、レンタルスペース利用などで集まるまちの方々。古い建物もつオープンで親しみがある雰囲気に惹かれて、年間1万人を越えるたくさんの方々が冷泉荘に訪れます。それぞれ思いおもいに冷泉荘を楽しんでおり、直接だったり、管理人を通じてだったり、お互いにつながりたいときにつながることができるようなゆるやかな場が形成されています。

ひと

まちに開かれ愛される場をめざして

冷泉荘の活動や情報発信・文化交流の場としての力は、建物の中だけにとどまらず、周辺のまちへと波及しています。2009年には第4回アジア美術トリエンナーレの第二会場として、2011年・2012年には福岡市主催のまちなかアートギャラリー福岡の展示会場として選ばれ、多くの作家たちの作品制作／展示の場となりました。また、博多どんたくの起源とされる博多松囃子・稚児流が2011年より冷泉荘にも訪問、稚児舞をご披露いただいております。2012年には第25回福岡市都市景観賞の活動部門を受賞。冷泉荘の活動が福岡・博多に認められ、まちに開かれた施設となりつつあります。

現在、冷泉荘では周囲のレトロビルを「サテライト冷泉荘」として古い建物をいっしょに活性化していくプロジェクトを進めています。冷泉荘の周囲から少しずつ、古い建物を大切にする動きが全国へと広がり、レトロビルがさらに活性化し熟成した“ビンテージ・ビル”を生み出していくことが冷泉荘の大きな目標であり、願いです。

まち



稚児舞

福岡アジア美術トリエンナーレ

サテライト冷泉荘「蝶とビル」